

市長コラム

～市民協働社会を目指して～

Vol.35



令和6年元旦に発生した石川県能登半島地震は、穏やかな新年の幕開けを一変させる衝撃的な出来事でした。多くの方々が被災され、いまだ安否不明者も多数おられます。さらに、冬期間という厳しい環境の中、避難生活を余儀なくされている方、また、現場で生存者の捜索や復旧に当たられている方々は、大変な苦難と闘っておられることと思います。

被災された方々に心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興をお祈りいたします。

★「南小っ子SDGsツリープロジェクト」に込めた思い

近年、記録的な猛暑や寒波などの気候変動、豪雨や地震といった自然災害の頻発化・激甚化など地球環境が明らかに変化しつつあり、また、世界各地での紛争やそれに起因する食糧やエネルギー危機など世界規模で重大な局面を迎えています。特に、日本は資源や食糧の輸入依存度が高く、私たちの日常生活においてもその影響を大きく受けています。

そうした中、昨年12月19日に開催された「南小っ子SDGsツリープロジェクト点灯式」に参加させていただき、ツリーに子どもたち一人ひとりが「給食は絶対に残さない」「水を出しっ放しにしない」「電気を付けたら消す」など、SDGsの取組に対する思いをカードに託し、多くのカードがツリーに飾られました。

「SDGs」は、2015年に国連で採択され、2030年を目標に17のゴール・169のターゲットで構成された「だれ一人取り残さない持続可能でより良い社会」の実現を目指す世界共通の開発目標ですが、このツリープロジェクトを通じて、子どもたち一人ひとりがSDGsに対する意識をしっかりと持ち、純粋な心しっかりと根付いてくれるものと確信しました。

SDGsの願いを共有することは、未来を担う子どもたちにとって「生きた教育」であり、未来へつなげる非常に重要な取組であると思います。こうした南小PTAの取組は、全国でも高い評価を得て、今年度の優良PTA文部科学大臣表彰を受賞されております。

私は、この「南小っ子SDGsツリープロジェクト」の理念や取組を、五所川原から発信し、青森県、全国、そして世界へ広げたいという衝動に駆られました。



「南小っ子SDGsツリープロジェクト点灯式」の様子

少々気の早い話になりますが、今年の12月には、市役所本庁舎の土間ホールにツリーを設置し、来庁された方にSDGsへの取組を思い思いにカードに書いてツリーに飾り、子どもたちや多くの市民の方のご参加のもと点灯する「五所川原市SDGsツリープロジェクト」を行ってみたいと考えています。また、一人ひとりの力、一歩一歩の積み重ねから、一つの目標に向かって一丸となって挑戦し、社会全体を変えていこうというこの取組は、私たちが目指すべき「市民協働社会」のお手本の一つにしたいと思っています。

★「令和6年はたちを祝う集い」が開催されました！

1月7日、「令和6年はたちを祝う集い」が盛大に開催され、二十歳を迎えた皆さんのはつらつとした姿を目の当たりにし、大変喜ばしく感じました（4、5ページ掲載）。

今回初めての試みとして、主役となる二十歳の方々が構成する実行委員会を立ち上げ、全面的に企画運営していただきました。自分たちで記念すべき節目の式典を創り上げるといった試みは、これまでとは違った感動があったことと思います。準備に当たられた実行委員会の皆さんには心から感謝申し上げますとともに、これからの社会を担う皆さんの今後の限りないご活躍を期待しております。

★「第2回うまいもんフェスタinかなぎ」開催します！

2月3日、金木総合支所駐車場で「第2回うまいもんフェスタinかなぎ」が開催されます（24ページ掲載）。

昨年好評だった「巨大な雪のすべり台」「人間ばん馬体験会」などのアクティビティや、金木のソウルフードの「馬肉」を使った料理など工夫を凝らした金木ならではのグルメを存分に満喫できるほか、今年はキッチンカーも登場し、昨年以上の魅力溢れる内容になっています。

今年は雪不足のため、メインアクティビティのすべり台の出来具合など不安はありますが、金木商工会を中心に構成された「かなぎまちなかフェスティバル実行委員会」や金木総合支所など官民が一丸となって、ご来場の皆さんに喜んでいただけるよう意気込んでいますので、ぜひ多くの方々のご来場をお待ちしております。



「令和6年はたちを祝う集い」の様子